

民間スポーツクラブのプール活用 鈴木大地 in ジェクサー・フィットネス&スパ 上野

安全なプール環境を守る 一定期点検とメンテナンス

—プールヒット商品—
水・夢・徒・然

肌触りのよいFRPユニット式で
商品性・施工性が高く評価されています。



京都市立 京都御池中学校 [ヤマハシャワーユニットスリム]

ヤマハシャワーユニット

素早く、きれいに洗浄し、プールへ。
シャワーは、プールに汚れをもち込ませないための設備です。
ヤマハシャワーユニットは、通過する人を認識する自動感知センサーを採用。
入口はミストでやさしく、出口に向かって強い水圧でしっかりと、腰洗い・足洗いノズルも備え短時間で効率的に全身を洗浄、センサー連動で節水効果も発揮します。
また、一体型設計の本体は、プールと同じFRP。
軽くて丈夫、そして素足にもやさしく滑りにくいデザイン。
やさしく降り注ぐシャワーのトンネルをくぐり抜け、夏の日差しがキラキラ輝くプールへ。
子どもたちの瞳もいっそう輝きを増すことでしょう。



ヤマハプールシリーズには、ヤマハプールサイドシステムが最適です。

営業所のご案内 プールのことならお気軽に・・・

- | | | | |
|--|------------------|--|------------------|
| ヤマハ発動機株式会社
プール事業部
〒431-0302 静岡県浜名郡新居町向島3380-67 | TEL 053-594-6512 | 中部営業所
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-18-11 第18KTビル2F | TEL 052-209-6676 |
| 北海道販売課
〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西2-9 オーク札幌ビル7F | TEL 011-200-2381 | 関西営業所
〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町3-4-16 船場オーセンビル4F | TEL 06-6268-0520 |
| 東北営業所
〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台ビル5F | TEL 022-301-7102 | 中四国営業所
〒700-0024 岡山県岡山市駅元町1-6 岡山フコク生命駅前ビル10F | TEL 086-801-0156 |
| 東京営業所
〒108-0023 東京都港区芝浦3-5-39 田町イーストウィングビル3F | TEL 03-3454-2434 | 九州営業所
〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勤筑紫通ビル3F | TEL 092-472-7815 |

<http://www.yamaha-motor.co.jp/product/pool/>



水夢は再生紙を使用しています。 210057

民間スポーツクラブの プール活用

新時代を迎えた フィットネスクラブ

1970年代後半の子ども向けスイミングスクールブーム、バブル期のフィットネスブームに続き、現在、第3次ブームを迎えているといわれるフィットネスクラブ。

売上高、会員数ともに、このところ増加が続いている背景には、人々の健康志向の浸透や、社会の高齢化、さらに団塊世代の大量リタイアなどの社会的要因がある。

加えて、フィットネス業界自体が、「コンビニフィットネス」「ワンコインフィットネス」「サーキットトレーニング」など、さまざまな新機軸を打ち出し、新たなマーケットを開拓したことも、業界活性化の要因にあげられるだろう。

多様化するニーズを巧みに対応し、拡大を続けるフィットネスクラブ。その中において、今プールに求められる力とは何かを今回は探ってみよう。

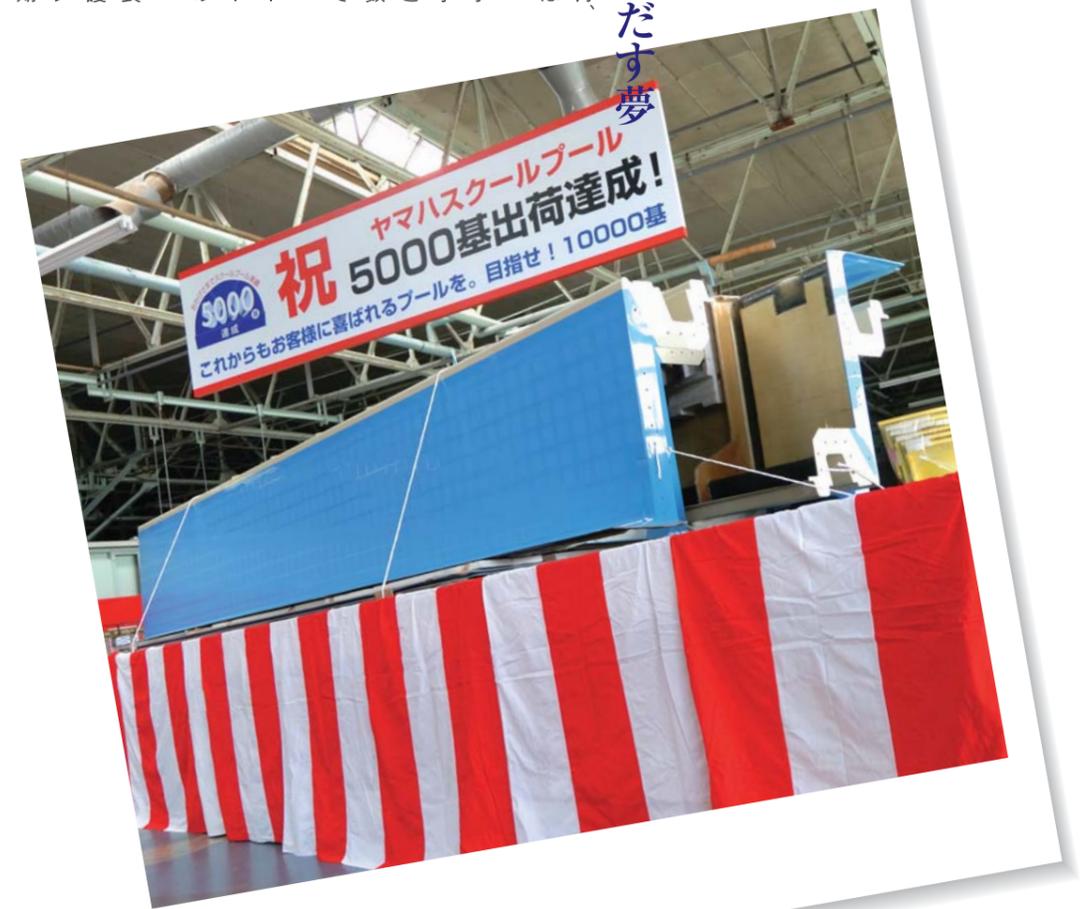


五千のプールから泳ぎだす夢
一つひとつを積み重ね2007年6月、ヤマハFRPプールスクールシリーズは出荷台数5000基を達成しました。少しでも長く泳げるようになりたい子どもの願い。速く強い泳力を求める選手への願い。いつまでも健康でがんばろうと思う人々の願い。それぞれのプールが、数え切れない人々の夢の受け皿として、その姿を見守ってきました。

ポルト技術で培ったFRP技術をプールへと発展させる。そこには戦後のオートバイ生産を起源とする、ヤマハの「ものづくり思想」が息づいています。

5000基目のプールユニットは、長野県初の知的障害者施設「稲荷山養護学校」へ。校舎建築工事を終え、待望のプールの完成に、生徒と関係者は大きな期待を寄せています。

その願いに応える技術を。そして、もっと多くの人の期待に応えるプールを。ヤマハFRPプールは、いつの時も人の夢と共にあります。

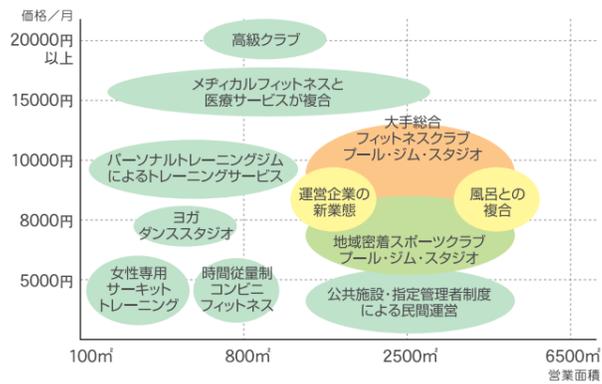


ヤマハFRPプール生産工場と出荷待ちのプール

CONTENTS

- 2 特集1 民間スポーツクラブのプール活用
- 5 特集1：民間スポーツクラブのプール活用 インタビュー 鈴木大地×ジェクサー上野店
- 9 特集2 安全なプール環境を守る
- 11 YAMAHA INFORMATION
- 13 水中運動核心論 Presented by 宮下充正
- 14 プール安全技術メモ FILE1 「吸い込まれない技術」 ヤマハフロアー吸水方式

■多様化するフィットネス施設の業態ポジショニング
(資料提供 月刊レジャー産業)



■新たなマーケットを開拓した新業態

もう一つの動きとして目立つのが、業態の多様化による新たなマーケット・ニーズの掘り起こしである。

ジム・スタジオ・プールの基本形に加え最近では、さまざまな新業態が開発されるようになった。

その代表格がアメリカで大ブームになった女性専用の「サーキットトレーニング施設」や「ヨガ・ピラティスの専用スタジオ」である。施設によっては「シューズ不要」「着替え不要」を打ち出し、気軽に行けて、身近にあって、短時間で済む、手頃な価格で、女性だけで利用できることから「コンビニフィットネス」とも呼ばれている。

こうした施設は、ビルの中など省スペースでも運営でき、コストも低く抑えられることから異業種の参入が相次いでいる。

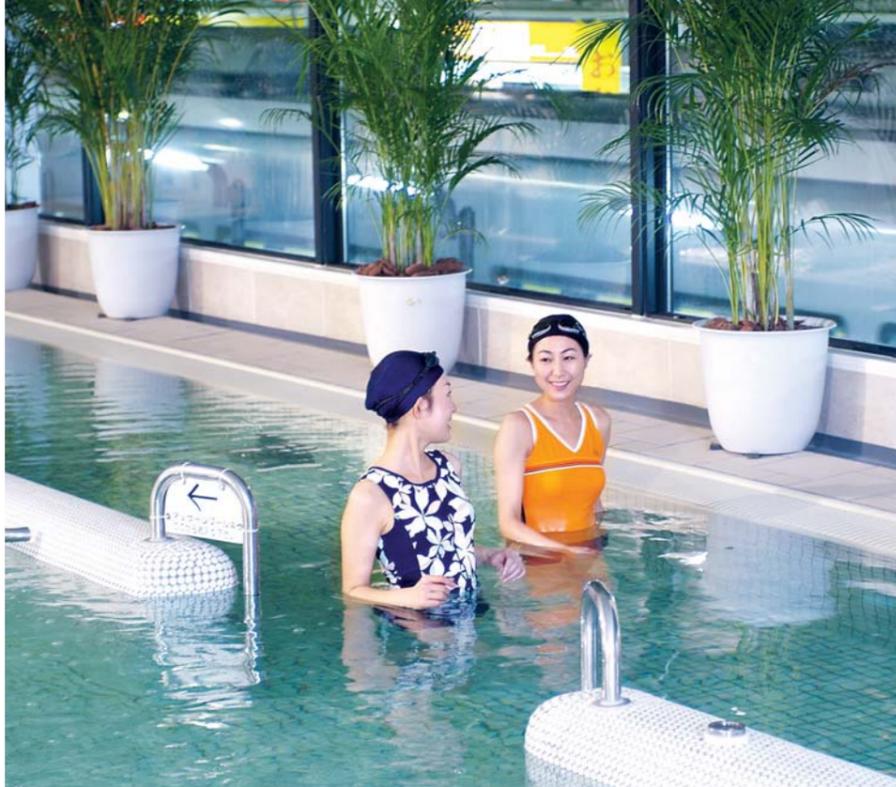
■「駅ナカ」スポーツクラブの登場

重要なのは、時代の流れや、多様化するマーケットニーズに対応して、いかにアクアゾーンを活性化するかだ。

手軽さを追求した「コンビニフィットネス」に負けない、気軽に利用できるプールとは？ スタジオやジムに負けない、活気あるプールとは？

その答えを探るため、今回はJR東日本グループの大型フィットネスクラブ「ジェクサーフィットネス&スパ上野」取材した。

「駅構内」という究極の手軽さを持つ同店の、プール活性化への取り組みについて紹介したい。



施設の現在、プールの未来

新規参入による市場の拡大や、健康志向の高まりを追い風に、活況が伝えられるフィットネス業界。団塊世代や高齢者、女性などマーケットのニーズに応え、さまざまな新サービス、新業態が開発されている。

こうした中、「プールレス業態」とも言われるスタジオ単体、もしくはジム+スタジオに特化した中小規模のフィットネス施設も目立つようになってきている。それらに対向し、プール・ジム・スタジオを備えた総合型クラブの実状、そして持続的成長を遂げるための鍵は何か。最新のフィットネスクラブのレポートとともに検証したい。



健康への関心と、フィットネス熱は比例

人々の健康志向は、ますます高まりを見せている。生活習慣病の予防や、メタボリックシンドロームへの関心の高さは、その一つの表われと言えるだろう。

健康志向とフィットネス熱の高まりは密接な関係があるとされている。日本のフィットネスクラブへの参加率は現状2%台程度。これは、米国や英国がともに約6%前後であるのに比較すれば明らかに低い。

一方、GDP(国内総生産)に占める医療費の比率は、米国は日本の約2倍。医療費負担の大きい国は、健康への関心が高くなる傾向がある。同時にフィットネスクラブへの参加率も高くなることを考えれば、日本のフィットネス市場は、今後さらに拡大していくことが十分に予測される。

増加する高齢者の会員構成比率

実際、フィットネスクラブの会員も、高齢者の構成比率が上昇しているという。2007年には、団塊世代が一斉に定年を迎え、その傾向はますます強まるだろう。当然、高齢者やリタイア層をターゲットにしたサービスやプログラムを提供するフィットネスクラブも増えている。

たとえば「生活習慣病予防プログラム」や「腰痛、膝痛、肩痛の改善プログラム」など、目的や対象を具体化しているのが特徴だ。また、単にスポーツ施設を提供するのではなく、「学び」や「仲間づくり」の場としての利用を提案するクラブや、医療機関と連携したクラブなども登場してきている。

さらに求められるプールの存在

このようなスタジオ単体もしくはジム+スタジオ型の施設の台頭は、一見、フィットネス施設のプール離れを示しているように見える。しかし、こうした施設が好調なのは、プールを省略したからではなく、ターゲットを絞り込みコンセプトを明確にしているからだ。

確かにプールはなくても、手軽さが一番だと考える利用者は存在する。しかし一方で、プールのないフィットネスクラブは価値がないと考える人も少なくない。

高齢者の会員増加や、健康志向の高まりなどを考えれば、なおのことプールを抜きにした業態は考えにくく、プールを利用する人口はむしろ増えると推測される。

とりわけ若年層から高齢者層までを対象とする総合型フィットネスクラブにとって、プールは不可欠な設備だろう。



アクアビクスプログラム



別のプログラムは10分程お待ちいただけます。プログラムの数が多いので、プログラムの組み合わせが豊富です。当店の場合は、アクアビクスや水泳など、様々なプログラムをご用意しています。また、水泳の技術向上や、水泳の楽しさを伝えるためのプログラムも用意しています。

大地 なるほど。施設などハードはいつか陳腐化してしまいます。しかし、ソフト面が充実し、常に進化していると、それだけで活気が生まれます。いつもレッスンが行われ、次々に新しいプログラムが登場する企画力と提案力を持ったクラブ体制。スタッフやインストラクターの態度一つでも、施設の雰囲気はガラリと変わりますよね。プール活用の貴重なヒントをいただけました。どうもありがとうございました。

鈴木 場所柄、どうしても仕事帰りに来店される方が多いものですから、夜はマシンがすべてふさがってしまいます。それで、フルタイム会員だけはやむなくウェイティングとさせていただきます。大地 優位性のあるロケーションならではの嬉しい悲鳴ですね。それにしても、あの広々としたフロアにあるマシンがフル稼働になるんですから、さぞかし壮观だろうと思います。鈴木 広さは約5400㎡。当社店舗の中でも最大です。メインフロアとなる地下1階は長さが140mに及びます。プールがあるのは2階。25mコースが6コース、1周40mのウォーキングプール、ジャグジーがあります。

大地 最近フィットネス業界では、プールを持たないジム・スタジオ型の施設が注目を集めています。こちらのプールの利用状況はどうですか？鈴木 プール利用者が減っているという印象はまったくありません。塚田 フィットネスクラブにとって、プールは基本アイテム。有るのと無いのでは集客力がかなり違います。やはり、プールが欲しいというお客さまは多いです。入会の動機として、プールの有る無しはきわめて重要な要素です。鈴木 日本人は、もともとプールが好きなんだと思います。プールやスパなどのアクアゾーンが衰退していくことは考えられないのではないのでしょうか。

大地 サービス面では、どういう取り組みをされていますか？鶴巻 当社では「品質向上室」を設け、お客さまの満足に結びつくCS経営に力を入れています。まずフィットネスクラブにおいては、「安全・安心」が基本となります。AED（自動体外式除細動器）の全店設置や、CPR（心肺蘇生法）の資格の全員取得、さらにプールサイドや浴室、ロッカーなどに救急プザーを設置するなど、あらゆるリスクに備えた態勢を整えています。またサービス業である以上、「人の育成」は不可欠です。たとえばお客さまが来店されたときの挨拶を、1ワード・2ワードから3ワードに増やしてみる。これだけでお客さまとのコミュニケーションにずいぶん変化が現れます。塚田 インストラクターの教育も施設の活性化には欠かせません。定期的にデモレッスンでスキル評価を行い、標準化を行うことも大切です。また「品質向上室」では新しいプログラムなど、ソフト面での開発にも力を注いでいます。



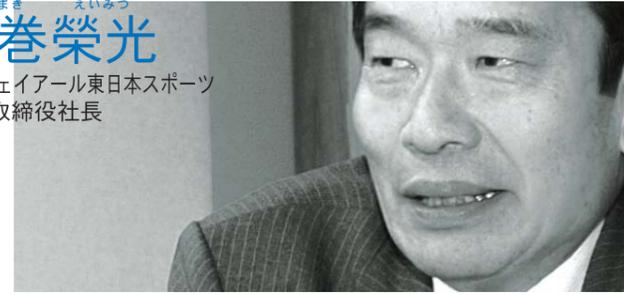
鈴木大地



JR上野駅に大型スポーツクラブ誕生 駅で泳ぐ、運動する。

鶴巻栄光

(株)ジェイアール東日本スポーツ
代表取締役社長



INTERVIEW 「ジェクサー・フィットネス&スパ上野」



JR東日本グループでフィットネスクラブをはじめ、フットサル、テニススクールなどを展開する(株)ジェイアール東日本スポーツ。2007年7月、JR上野駅構内に、都内最大級のスケールを持つ「ジェクサー・フィットネス&スパ」を開業した。ビッグターミナル「上野駅」の膨大な数の利用者をターゲットに事業展開を行う同社は、プール活性化についてどういう取り組みを行っているのか。お話をうかがってみよう。

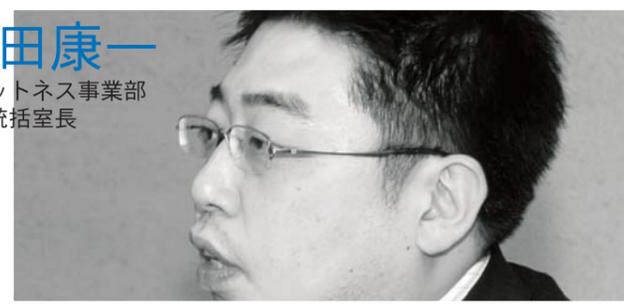
大地 2006年の7月に開業とお聞きしましたが、利用者の反応はどうですか？鶴巻 おかげさまで、非常に多くの方々にご入会いただき、フルタイム会員については現在、入会を制限させていただいている状態です。

■プール、スパなどの アクアゾーンが充実

大地 2006年の7月に開業とお聞きしましたが、利用者の反応はどうですか？鶴巻 おかげさまで、非常に多くの方々にご入会いただき、フルタイム会員については現在、入会を制限させていただいている状態です。

塚田康一

フィットネス事業部
営業統括室長



鈴木剛

店舗マネージャー



■乗り換えついでにフィットネス。

鈴木大地(以下大地) こちらの最大の特徴は、なんといっても駅からの近さですね。近いなんてものじゃない、駅の中にあるわけですから(笑)。先ほど、会員専用ゲートから外に出たときは、一瞬目を疑いました。ドアの向こうは駅のホーム。ちょっと近未来的な感覚もあって本当に驚きました。鶴巻 グループの強みを活かし、「駅からの近さ」にこだわったフィットネスクラブを展開しております。「上野」は改札の外にまたがる形で大きなスペースがあったため、駅構内にも専用ゲートを設けることができました。大地 まさに「駅ナカ」立地ですね。他の店舗もすべて同じようなロケーションなのですか？鶴巻 当店の大型店舗は、2003年に開業した「大宮」を皮切りに、「上野」で3店舗目に当たりますが、駅ナカと呼べるのはここだけです。ただし、駅との親和性を重要視していることは全店に共通しています。塚田 コンセプトは、「手軽に・気軽に・簡単に」。便利な場所、リーズナブルな価格で、若い方から中高年の方まで、誰もが利用しやすいことを大切にしています。上野駅は、一日の乗降客数が38万人、乗り換え利用者が42万人にのぼる巨大ターミナルですから、上野駅を利用される方々にぜひ利用していただきたいですね。

定期点検とメンテナンス いつも快適なプール



プールにも『点検』と『整備』が必要です。

快適なプール環境維持の難しさ

30年以上も長期間利用されるプールの期間だけ利用される屋外型プールと、1年を通じて利用される室内温水プールでは、設置環境も異なりますが、どちらもプール製品にとって、いろいろな経年変化や劣化の原因が生じます。
屋外型プールは、厳しい紫外線や、熱い太陽光にさらされ、シーズンオフには極寒の季節もささなければなりません。
一方、温水プールは年間を通じて利用され

るためプール本体の稼働率は単純に考えても屋外型プールの4倍、夜間や早朝の利用によりその運用時間にはさらに多くなります。
可動床やアクアエクササイズなど、機能面、利用メニューが複雑化する現在、プールのパフォーマンスを常に保つには、機器の保守技術や利用メニューに合わせたプールの保守等、専門的な知識が必要です。

安全なプール環境を見守る

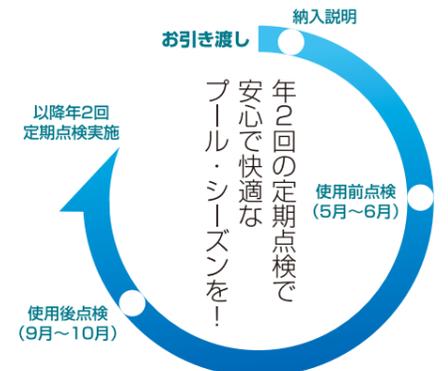
こうしたことから、ヤマハ発動機では、プールの製造販売とともに、点検と整備も行っています。
オートバイやクルマを日頃から安全、快適に使うために車検や点検があるように、プールにも性能を維持し、安全を確保するための点検と整備が大変重要です。

専門スタッフによるメンテナンス

ヤマハプールを「安心」して「快適」に使用していただくため、技術とメンテナンス両面を対応して参りました。
「技術」の面では、吸込み事故を起こさない独自の吸水循環排水システムを採用しています(関連記事14ページ)。

技術とともに、人の手により常にプールの環境を守ることを目的に、専門スタッフによる「プールメンテナンスサービス」にも取り組んでいます。

ヤマハプールの定期点検



長期間楽しく安心してプールをお使いいただくために、全国をカバーするサービスネットワークでメンテナンスサービスをご提供しています。
安心して快適なプールライフをお楽しみいただくためには、専門家による定期的なメンテナンスが必要です。
ヤマハFRPプールは耐薬品性・耐久性にたいへん優れているため、錆や腐食、ひび割れの心配が極めて少ない製品です。

＝ 主な作業内容 ＝



リフレッシュメンテナンス

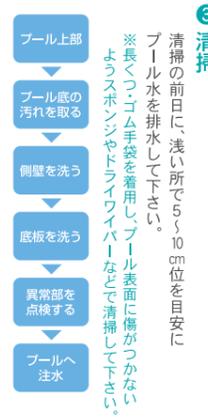
納入後10年を経過したプール本体及びプール周辺機器に対し、専門スタッフによるリフレッシュメンテナンスをお勧めしています。

- 1 漏水の有無点検
- 2 ねじの浮き・接合部バリ点検
- 3 10年以上経過したグレーチングは交換を!
- 4 スタート台の点検
- 5 スタート台には保護カバーを!
- 6 コースラインの塗り替え



シーズン前 清掃点検の注意

- 1 清掃前の過ポンプ等運転注意
- 2 プール水の排水
- 3 清掃
- 4 点検(定期点検項目)



シーズン後 保管上の注意

- 1 修理はお早めに
- 2 凍結・積雪への処置
- 3 休場中は立入り禁止
- 4 プール周辺商品の注意点

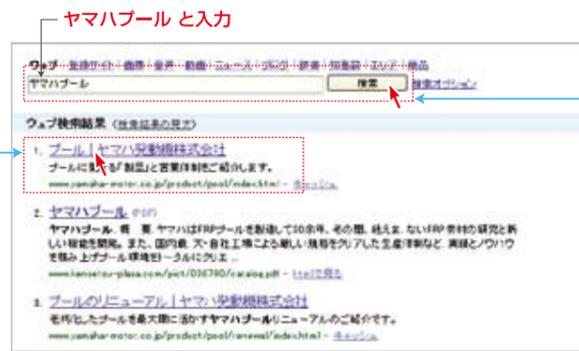
* 機械室は換気を行い、
* 減菌剤等の保管をしっかりと下す。
* プールは満水で保管して下さい。
* 来シーズン前、清掃等を楽にするために
* 常時点検して下さい。

ヤマハプールメンテナンスメールニュース創刊

プールの維持管理や点検に関するその時期折々の情報をご案内するため、メンテナンスメールニュースの無料送信を開始しました。
ぜひ、多くのおみなさまに登録いただき、活用いただきたいと考えております。

ヤマハFRPプールをご利用のお客様、またプール施設の運営担当者様へ、プールを安全・快適にご利用いただくためのメンテナンス情報を、ほぼ月刊でお届けします。

1 検索窓に「ヤマハプール」と入力してクリック



2 「プール」ヤマハ発動機株式会社」をクリック

3 「プールメンテナンスメールニュース」をクリック



4 貴社のメールアドレスを入力して配信申込をクリック



スクールシリーズ5000基 達成記念式典開催

ヤマハスクールシリーズが出荷5000基を達成しました。この出荷を記念しての式典が、6月3日ヤマハFRPプール生産工場で行われました。

式典は長野県の稲荷山養護学校への出荷を控えたトラックの前にプール事業部本社スタッフが参列して行われました。あいさつに立ったプール事業部野瀬和朗事業部長は「スクールシリーズ1号出荷から30年、当時の先輩やこれまで携わられた関係者に心から感謝しています。5000基目の出荷先である稲荷山養護学校の生徒さんや関係者の笑い声がたくさん生まれることを期待しています」と話しました。

また谷 聖志製造部長は「国内唯一のヤマハFRPプール生産工場として、知恵と知識を磨き製品づくりに取り組んでいきたいと思えます」と一層の技術向上を誓いました。

あいさつの後は、テープカットが行われ、参列者全員でプールが積み込まれたトラックの出発を見送りました。

スクールシリーズは、1978年静岡県磐田市内の小学校に1号機が納入され、以来その汎用



出荷するばかりのユニットの前で行われたテープカット

性や耐久性などの高さから、民間スポーツクラブや公共施設など全国で利用いただいています。ヤマハの主力商品として、また、国内のプールとしても最も多い納入実績を誇っています。



プール事業部参列者全員で記念撮影

デカパトスとアマラーゴ 今年7月7日から9月9日まで

3年目の夏を迎える神戸市の「デカパトス」Rokko Island」と、2年目の尼崎スポーツの森のウォーターパーク「アマラーゴ」が、今年も7月にオープンします。当社が管理運営を行う両プール施設では、7月7日(土)から、9月9日(日)までの営業を予定しています。



g-skatesによる実演

デカパトスでは本格オープンを前に、5月27日、「六甲デカーニバル」を開催し、子どもプールの開放やパフォーマー、同施設内のg-skatesによるインラインスケート実演、セレゾン6aiのフットサルスクールなどでにぎわいました。

尼崎スポーツの森が1周年 「健康づくり」講演会も

6月3日「尼崎スポーツの森」で、施設オープン1周年を記念して感謝イベントが開催されました。当日は地元中学や大学の協力による音楽イベントの他、温水プールでの無料教室などが行われ1周年を祝いました。

遡って4月8日には、「健康づくり」講演会として、宮下充正氏(東京大学名誉教授)の講演と、新しいフィットネス「ミューロピクス」の体験教室が開催され、施設利用者を中心に約50名が参加しました。

「ミューロピクス」と「ヘルスリズムス」は、エアロピクスやエクササイズに、脳・神経への刺激を活性化する音楽メニューを取り入れた新しいトレーニングです。

体験教室の前には、宮下充正先生の講演では、目的や効果をもって無理のない運動をする大切さをお話いただきました。受講者は講演会を通じて運動の大切さをあらためて感じている様子でした。

尼崎スポーツの森では、運動メニューと温水プールの併用を含め、より効果の高いスポーツライフを提案して行く考えです。



尼崎スポーツの森



ミューロピクス体験教室

ヤマハスポーツ文化フォーラム2007 東京・大阪で300名が参加

去る2月、ヤマハスポーツ文化フォーラム2007が東京九段会館と、大阪テイジンホールの2会場で開催されました。今回で8回を数えたこのフォーラムでは、第1部で「われらは海の子ープールでたくましい人づくりー」をテーマに、成長期の子どもに欠かせないプール利用について検証しました。

06年度まで放送大学教授を勤められた、東京大学名誉教授の宮下光正氏をコーディネーターに、財団法人日本水泳連盟専務理事の佐野和夫氏、同連盟特命担当理事の木原光知子氏をパネラーに迎え、子どもを育てる土壌として日本社会の課題と、(財)日本水泳連盟の取り組みと成果、そして水泳の魅力、健康維持・増進からトレーニングまで幅広い対応ができる水のすばらしさについてお話しいただきました。

また、「安全なプール環境を目指して」



木原 光知子氏と佐野 和夫氏

と題して行なわれた第2部では、佐野和夫氏の水泳による事故の状況と、(財)日本水泳連盟の取り組みや競技者と指導者における留意点をお話しいただきました。後半では、財団法人日本体育施設協会常務理事で事務局長の柘蔵氏に、プール施設の安全対策としての設備やシステムについてお話しいただきました。



(第2部) 柘蔵氏 講演の様子

ボートショー2007で ユニットプールきらきらが活躍



国内最大のマリナー製品フェスティバル、ジャパンインターナショナルボートショー2007イン横浜(社団法人日本船舶工業会主催)が3

月15日から18日の間、パシフィコ横浜展示ホールなどを会場に開催されました。昨年までの千葉県幕張から港町・横浜へ会場を移し、開催日も2月から3月に変更したこのボートショーには、当社を筆頭に、400を超える企業・団体が出展し、最新のマリナー製品などが展示され、大勢のマリンファンで賑わいました。

展示ホール会場入り口正面のスマイルボートコーナーには、特設スペースとして「ユニットプールきらきら」を中心にした「キッズマリナー」が設けられました。このプールでは、スマイルボートやカナーの乗船体験や、ラジコンボートの操縦体験が行なわれ、子どもたちや家族連れの楽しい声や歓声が包まれました。

国内マリナーのリーディングカンパニーでもあるヤマハ発動機は、毎年開催されるボートショーに協力する中、このプールコーナーにも2002年から継続して展示協力しています。



ジャパンインターナショナルボートショー2007イン横浜

プール安全技術メモ

—こころ安らぎのプール技術—

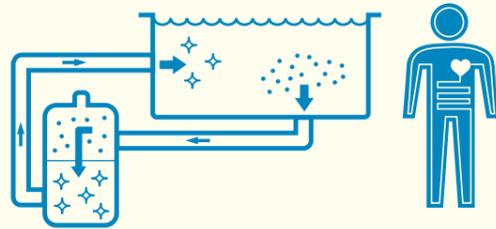
FILE-1 ヤマハフローアー吸水方式

「吸い込まれない技術」

吸水口を分散して、吸い込み圧を小さくする

常に循環しているプールの水 清潔なプールを守る吸込口

汚れた水を清潔に。
汚れた水はろ過器に送って
清潔な水にリフレッシュ。
人の身体の血管と同じ。



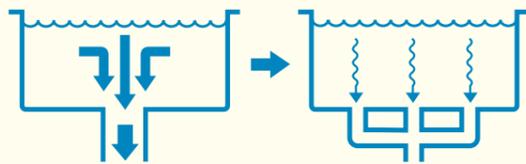
子どもは好奇心の固まり 水中では重いものが軽くなる

楽しい水の遊び。
水の中に潜って、いろんな探検してみたい。
重いものでも簡単に動かせる。
固定していない排水蓋は危険。



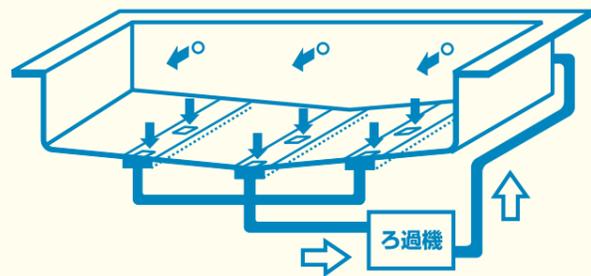
ひとつの吸込口よりも たくさんの吸込口で

ひとつの吸水口だと、
一度吸い付いたらはずれにくい。
たくさんあれば大丈夫。



たくさんの吸水口で 吸水圧を低く。 ヤマハフローアー吸水方式

フローアのガーター部に18ヶ所（※）
の吸水口を設置。
人が吸い込まれない仕組みを研究。
清潔な水で視界も良好。
安心を素肌で感じてもらえる技術。
だから、安心・ヤマハプール。



※25mプールの場合の平均的な吸水口の数

<http://www.yamaha-motor.co.jp/product/pool/safety/index.html>

Aqua Exercise Essay

水中運動核心論 Teaching 12

presented by 宮下充正



東京辰巳国際水泳場



世界水泳福岡2001特設プール「水夢21」

世界の水泳プール さまざまな工夫の変遷 《その4》 1970年代から2000年代

外国での学会へ参加や、日本代表水泳選手団の遠征に同行した過去40年近くの間に、見学した各国のプールの紹介の最終回。

日本…世界に誇るプール

1990年代になると、日本の経済力にも余裕が出てきたのか、いろいろな都道府県で大型の競泳用屋内温水50mプールが建造され始めた。中でも東京オリピック（1964年）用に建造された国立の代々木のプールが老朽化で利用し難くなったことを受け、東京都は江東区辰巳に大規模な屋内温水プールを建設した。観客席と可動床のある長さ50m、幅25mのプール、10mの飛び込み用プール、ウォーミング・アップ用50mプール（ベースメーカー）が埋め込まれている、付属してトレー

ニング用マシンが設置してあるトレーニング室がある。大型のスクリーンには、水中に設置した水中カメラからの映像が映し出され、観客が選手の水中動作を同時に見ることが出来る。このプールは、現在世界中でも、もっとも素晴らしいプールの一つといえよう。

特筆すべきは2001年の夏、福岡県博多市で開催された世界水泳選手権大会の会場としてヤマハ発動機（株）が世界で初めて水深3mの50m競泳用特設プールを造り、成功を収めたことである。

ユニバーサルデザインの国内普及
他方、市区町村レベルでも、民間のスイミングクラブが先行していた屋内温水プールの建設が始まった。それらの多くは、競技会が開催されるように設計され

ている。
ところで、2000年代に入って、健康ブームと運動して、障害者、高齢者向けのユニバーサルデザインを施した屋内温水プールの建造が始まった。それらには、入水路として手すりのあるスロープ、歩行用コースなどが設けられている。このような多用途の屋内温水プールも、世界ではあまり目にしないものといえるだろう。



専用の車イスのまま入水できるプール（東洋英和女学院大学アクア・センター）

理想的なプールの姿

時代を追って世界のいろいろなプールを見ると、建築材料、技術の進歩とともに、利用者のニーズに合わせて、さまざまな工夫がなされてきたのがわかる。そして、プール建造の根底にあるべき志向は、100年近くは使用できる、だれでもいっつも使える、維持管理費が安価である、などいろいろな面から見て『無駄の少ない』という一言に尽きるような気がするのである。

Profile
 宮下 充正
 「最近の主な著書」
 「子どものスポーツと才能教育」02（大修館書店）
 「中・高生のためのフットボールサイエンス」04（大月書店）
（財）日本水泳連盟 前放送大学教授 東京大学名誉教授